

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・留守番電話の設置及び休日夜間等における町役場での緊急電話対応
- ・学校閉庁日の拡大（夏季休業，年末年始休暇の休日確保）
- ・ストレスチェック及び産業医との面談を予算化するなどのメンタルヘルス対策の強化
- ・処理時間短縮のため校務パソコンの高スペック化とソフトウェアのバージョンアップ
- ・教職員を対象とする新型コロナウイルスワクチンの優先接種
- ・就学援助費の町からの振り込みなど，学校取り扱い金の銀行オンライン化
- ・生活支援員，ICT支援員，環境整備支援員等の校内業務に対する人的派遣を増員

視点２ 自校での取組

- ・学校行事の見直し（削減や規模縮小）  
運動会・体育祭の半日開催，複数学年構成による遠足宿泊学習，同様な教育効果の行事を一本化
- ・勤務時間の管理  
出退勤時間と勤務時間の可視化，月の半ばでの超過勤務時間の確認と通知
- ・定時退勤の励行  
２種類の「定時退校日」の設定，出張時の直行直帰の推奨
- ・ICT環境を生かした事務処理と教材研究の効率化  
各種便りの精選と統合，異学年の共同実施，教材の共有と研修のオンライン化
- ・日課の短縮や５時間授業日，学期末事務処理日の設定  
清掃や朝の活動の見直し，無理のない特別日課の設定，授業時数の調整
- ・専科指導による空き時間の確保  
専科教員の配置，中学校教諭免許の保有者による授業交換，町施設による水泳学習
- ・コロナウイルス感染症対策の強化による組織体制の維持  
自宅療養や待機の徹底，休業中の超過勤務１時間以内，ワクチン接種の推奨

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・コロナ禍の教訓を生かし，働き方改革につながる教育活動の精査
- ・行政と連携しながら教育活動（部活動・環境整備・登下校見守り）の外部委託
- ・コロナ禍と児童・生徒数減に伴うPTA活動の再検討と組織の再編制